

# 堂 谷 津 の 里 か ら

堂谷津の里では、5月末から6月初旬にかけて植えた稲の苗が順調に生育し、出穂も間近となっています。昨年悩まされたコナギについては、密生する要因が次第に明らかになってきており、引き続き対策を検討していきます。また、ホタルの飛翔数は徐々に回復しており、生息環境の整備を継続していきます。

6月15日に開催した自然共生サイト認定記念講演会には、約150名の参加があり、そのうち約80名が現地散策し、実りある催しとなりました。（講演資料などはホームページ参照）

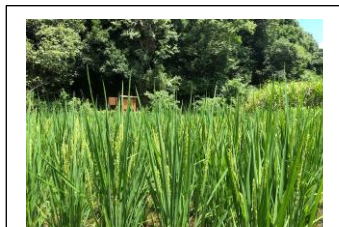
さらに、7月9日には環境省の国際ワークショップのエクスカージョンとして、10数か国の出席者約40名が堂谷津の里を訪れました。今後も堂谷津の里の価値を高め、次世代に繋げていくための活動に千葉市、地域の方々、他の環境保全団体と連携して取り組んでいきます。

今回は、環境省視察の際用いた説明資料のうち、森づくり（目標林型）について掲載しました。なお、6月11日開催の総会で2023年度事業報告、会計報告が承認され役員が選任されました。

## 【田んぼでは】



親子で体験家族による田植え

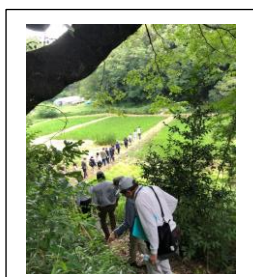


出穂間近のヒメノモチ

## 【自然共生サイト認定記念講演会】



## 【国際ワークショップのエクスカージョン】

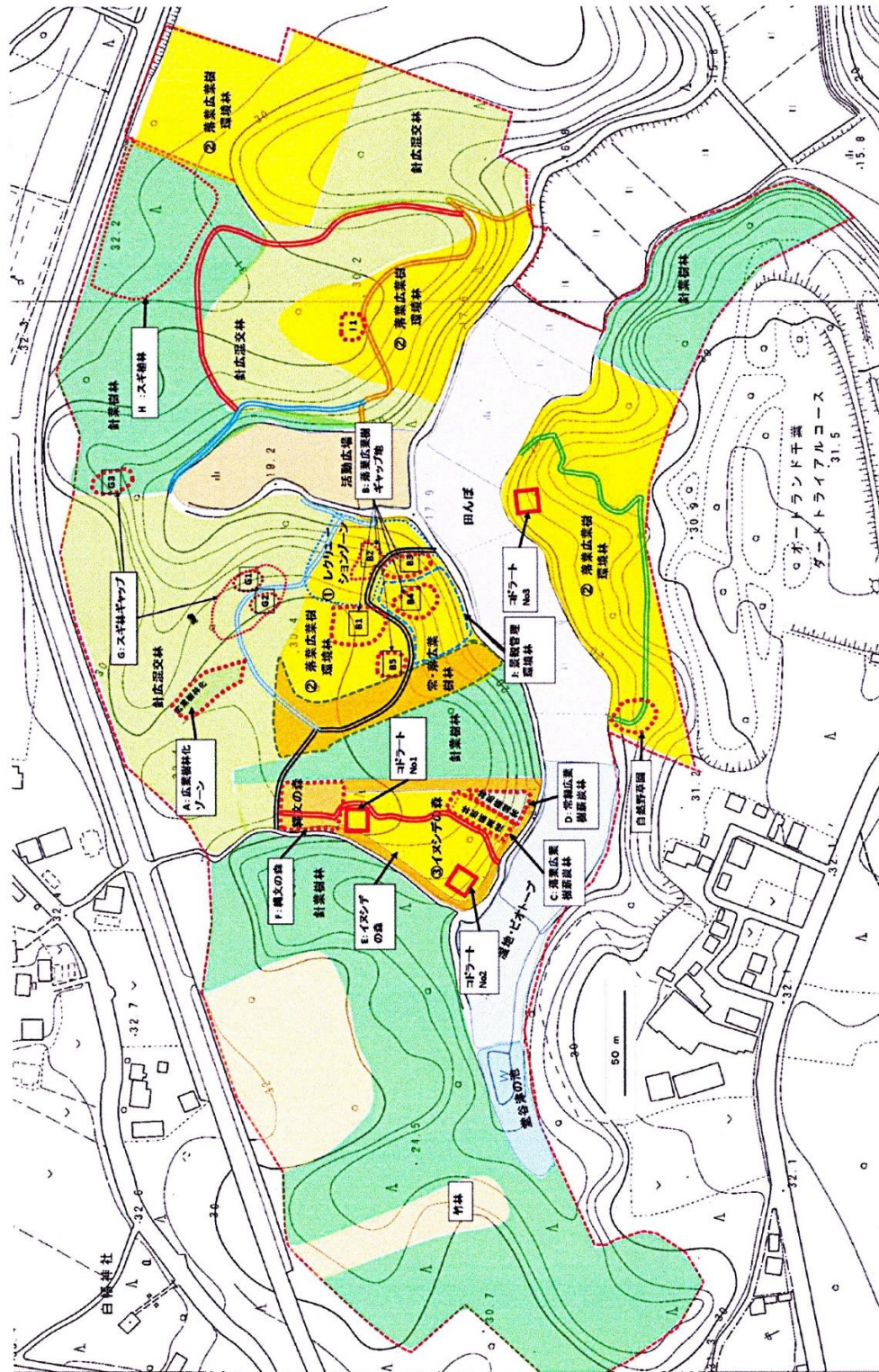


## 環境省視察のための説明資料

### 森づくり

斜面林はその場の環境や森林所有者ごとの管理方針などにより針葉樹林（緑）、落葉広葉樹林（黄）、常緑広葉樹も混じる針広混交林（黄緑）等到大別される（目標林型図参照）。それを基本にスポット的にナラガレ被害などにより生じたギャップにその場所にふさわしい現存樹種の植林や実生苗を保育している（図点線枠）。結果として全体の林相、場所ごとの樹種・樹齢、下草刈りの頻度など、多様な森になっており、田や草地などと合わせ生物多様性に資すると思われる。

## 目標林型



### <情報コーナー>

2024 年度は、斎藤幸一代表理事、月川憲次副代表理事、二宮豊副代表理事の体制で活動していきます。また、理事を退任された晝間初枝さんには、引き続き、動植物の保護の分野などでリードして頂きます。よろしくお願いいたします。

### NPO 法人バランス 21

E-mail:yatosatoyama@gmail.com

URL :<https://balance21.jimdo.com/>

連絡先：千葉市若葉区谷当町 70

TEL&FAX:043-239-0645 (現地)